千葉県知事 鈴木 栄治 様

「2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた海浜幕張エリアの整備」 要望書

- "感動とにぎわいが続くCHIBA"-

一般社団法人 ちばデザインネットワーク 2020年 東京オリンピック・パラリンピック研究会

千葉市長 熊谷 俊人 様

「2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた海浜幕張エリアの整備」 要望書

- "感動とにぎわいが続くCHIBA"-

一般社団法人 ちばデザインネットワーク 2020年 東京オリンピック・パラリンピック研究会 平素は種々ご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

私ども一般社団法人 ちばデザインネットワークは、 千葉県に在住・在勤・在学のデザイナー、建築家、工芸家、教育者などが、デザインを軸とした創造的能力を活かし、地域社会との協働の上、調和のとれた地域環境の形成や、 活気のある地域産業の振興、 促進を図る事業を行うことを目的として 2008 年に設立いたしました。

私たちの活動の一環として、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、千葉をよく知る地元デザイナーだからこそできることはないかと考え、2016年3月より話し合いや現地リサーチなどを進めてまいりました。

競技会場として千葉県内の各地が選ばれておりますが、オリンピック3種、パラリンピック4種の競技が実施される幕張メッセがある幕張地区は、多くの国内外の競技者・観戦(観光)者が訪れるため、特に整備が必要な地区です。私たちは、海浜幕張エリアを何度も訪れ、設備、動線、移動距離を確認、体感し、実際に車椅子を使って駅から移動することによって、移動する際の給水や日差しの問題、海浜幕張駅周辺の人の流れの誘導、人が増えることによって生じるトイレの問題などに気づきました。

私どもちばデザインネットワークでは、幕張地区におけるオリンピック・パラリンピックが一層の活況を呈し、東京中心部よりも広い空間が取れること、また海辺に近いことのメリットを生かし、大会後にも活用できる魅力あるプランを検討してきました。

この結果、幕張を訪れた様々なバックグラウンドを持つ人たちが、駅から会場に到着 するまでを、安全、快適に移動することが今求められている施策であり、それを デザインの力をもって更に楽しく、印象深い思い出にしたい、と考えております。

本計画の実現には、様々な企業との協働が必要であり、また、いくつかの解決 すべき課題もあります。

つきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた幕張地区の整備 と活性化に向けての4ページ記載の5項目の取組みについて、 事情ご賢察のうえ、 格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。 平成28年11月21日 千葉県知事 鈴木 栄治様

一般社団法人 ちばデザインネットワーク 代表 伊藤 幹雄

[連絡先] 2020 年東京オリンピックパラリンピック研究会事務局(株式会社フォルム内)千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1ワールドビジネスガーデンマリブイースト 20 階043-306-1511

平成28年11月21日 千葉市長 熊谷 俊人様

一般社団法人 ちばデザインネットワーク 代表 伊藤 幹雄

[連絡先] 2020 年東京オリンピックパラリンピック研究会事務局(株式会社フォルム内)千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1ワールドビジネスガーデンマリブイースト 20 階043-306-1511

1 夏季大会であることを考慮した、熱中症対策

近年では熱中症の患者が増えており、また日本の高温多湿な気候に慣れない 外国人は多く、暑さへの対策は必須です。日陰の活用や、だれもが利用できる 水飲み場の設置、そこで交流が生まれるような工夫をしたいと考えております。 (添付資料/タープ、足水、給水スポット、グリーンカーテン)

2 大会後も活用することを視野に入れた、設備の設置

現在でもイベント開催時の混雑が常態化をしている海浜幕張地区では、情報発信する設備が必要ではないかと考えております。混雑時や災害時など、状況に応じて変形するデジタルサイネージを提案したいと考えております。

(添付資料/デジタルサイネージ)

3 海岸や公園など会場以外の場所へも足を運んでもらう工夫 訪問者を分散させ、様々な場所に足を運んでもらうことで混雑の緩和や周辺店舗、 イベントの開催など地元への刺激を与えたいと思います。また、訪問者にとっても 会場だけではない「CHIBAでの思い出」ができると考えます。

(添付資料/マップ)

4 外国人や障がい者にもわかりやすく利用しやすい表示、案内

海浜幕張駅から会場に行くまでのルート途中での案内や表示は、日本語がわからない人や障がいのあるかたにとって決して十分でなく、必ず整備しなければならない点の一つであるといえます。また、迷ったときや介助が必要になった際に気軽に声をかけられるボランティアセンターも必要であると考えます。

(添付資料/ユニバーサルサイン)

5 トイレ周辺のスペースの配慮

トイレ内の設備だけでなく、その周辺のおむつ替えや授乳スペース、介助スペース 等も必要になります。それを、「トイレの続き」ではなく快適に過ごせるような工夫を したいと考えます。

(添付資料/トイレ周辺のサービス空間)

「2020年 東京オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた海浜幕張エリアの整備」 要望書 賛同者リスト

ちばデザインネットワーク オリパラ研究会活動履歴

年月	
2016.3	オリパラプロジェクト キックオフ
2016.6	車椅子を使っての海浜幕張エリアの移動、視察、会議
2016.6	海岸エリアの視察、アイディア、コンセプトの会議
2016.8	デザインアイディア会議
2016.8	コンセプト会議
2016.9	要望書検討会議

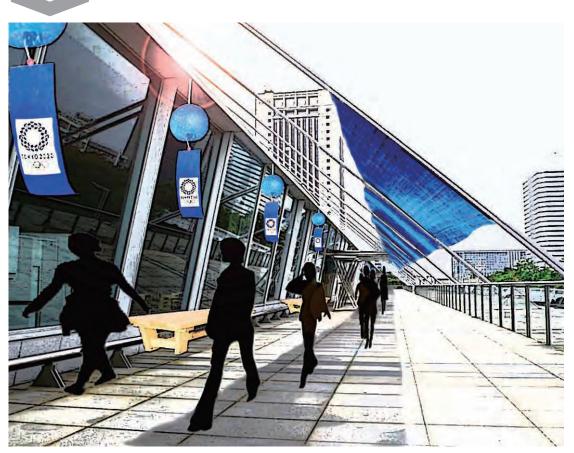
熱中症対策-① 幕張メッセのデッキを活用した涼感スポット



【現状】

- ・駅からの主動線に人が集中し、イベント時には非常に混雑する
- ・屋根がないため、雨や夏の強い日差しを 防ぐ事ができない

場所:幕張メッセ9-11ホール2階外



- ・日本の夏の暑さを軽減するため、日本らしい涼感をしつらえる
- ・風鈴、和風タープ、縁台等によりエリアを演出する
- ・海に近い幕張ということで、ブルーをメインカラーとする
- ・タープ、縁台は大会終了後も再利用できるようなデザインに
- ・駅からの主動線ばかりに人の流れが偏らないよう、エリアの認知度を上げる

熱中症対策-② 足湯・足水施設



【現状】

- ・限られたスペースを「憩いの場」として 有効活用したい
- 暑い夏に涼を取れる工夫が必要

場所:WBG ウェストタワー前広場



- ・心地よい温度の足水・足湯(2槽型)で休息してもらえる工夫
- ・外国の方に感動を与える、かやぶき屋根の東屋
- ・車いすでも利用しやすい工夫(床面高さやスペースなど)
- ・ 仮設型であるが使用後移築可能なシステム(使用期間中は芝を移転しておく)
- ・構造、床、屋根は国産の竹、杉材が主材料

熱中症対策-③ 給水スポット



【現状】

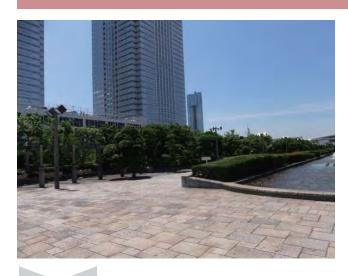
・近年の熱中症の多さから、誰もが手軽に 水分補給を行える環境の整備の必要性

場所:歩道わき



- ・手前-車いす利用者と健常者用水飲み 中央-補助犬用 奥-ペットボトルに給水できる場所
- ・手前と奥の給水スペースの間に距離を取ることにより、同時利用でもお互いに水の飛び散りを 気にせず使用できる。
- やや高さがあるため、遠くからでも見つけやすい

______ 熱中症対策-④ グリーンカーテン



【現状】

・会場への往還に利用されるメッセモール には、緑の植栽、水辺はあるものの、 真夏の強い日差しを遮るものが無いため、 暑さが厳しく、石張りの舗道からの 照り返しも強い

場所:メッセモール



- ・夏の強い日射しを遮るグリーンカーテン オプションでドライミスト噴霧装置設置
- ・古き良き日本の町並みを思い出させる風景の再現
- ・和の風物詩を彩る暖簾、縁台等の設え
- ・仮設型ではあるが、継続的な使用を考慮し、組立て・撤去・収納が容易なシステムを採用
- ・建物(工作物)は、県内産の間伐材などを利用した木造とする(屋根材には防水性を持たせる)

大会後も活用できる施設-① デジタルサイネージ



【現状】

- ・案内が多言語対応できていない
- ・混雑時の案内が不十分、放送(日本語) のみで聞き取れない可能性がある
- ・空間を十分に利用できていない (広告などの機会の損失)
- · Wi-Fi対応ができていない

場所:海浜幕張駅~メッセ間





- ・歩く中で幕張地区の新しく幅広い情報を 得られる
- 情報スポットとして、人が集まる
- 待ち合わせにも使いやすい
- ・混雑時に立ち上がり回転するサインボード
- 誘導の為の目印となる
- 歩行者だけでなく車からも確認できる
- ・多言語対応で、外国人観光客が扱いやすい
- ・車椅子からも見やすい高さ
- ・Wi-Fiスポットとしての活用

会場以外の場所へも足を運んでもらう工夫-① イベントマップ



【現状】

- どこからどこまでが幕張メッセなのか わかりにくい
- 車椅子の方や障害のある方が 幕張メッセにどのように行ったらいいのか わかりにくい

場所:海浜幕張エリア





- 幕張メッセをエリア指定する
- ・障害の有無に関係なく1つのマップで会場への行き方を表示する
- 色覚に障害のある人でも判別しやすいカラーに調整する
- ・夏の暑い日に会場へ向かうことを想定し、途中途中にスポットを設けて楽しみながら会場へ誘導する

わかりやすい表示、案内-① 色覚障がい、車いすの方に配慮したサイン



【現状】

- ・駅から出た瞬間にわかる案内表示がない
- アーケード下の表示がわかりにくく 汚れている。
- ・遠くから見た場合や夜間の視認性

場所:海浜幕張駅前



- ユニバーサルデザインに配慮した改良を行う
- ・文字のサイズとフォント、色づかいを読みやすいものに変更
- ・ローマ字表記を同日本語表記の上に配置
- 色覚に障がいのある人でも判別しやすいカラーへの調整、また方向別に分類
- ・字だけでなくピクト(図記号)も併記し直感的にわかりやすく改良
- ・夜間でも読みやすくするため、照明、塗料などの工夫を行う

トイレ周辺スペースの配慮-① 快適なサービス空間



【現状】

- ・海浜幕張駅周辺のトイレは、イベントごと に大変な混雑になっている
- 簡易的なトイレでは、授乳スペースや おむつ替えスペースなどトイレに付随する 設備がない

場所:幕張メッセ駐車場



【解決アイディア】

駐車場トイレ周辺の快適なサービス空間

- ・竹の植栽による和の表現を伴った暑さ対策
- ・竹に囲まれたおむつ替えやケープ使用時の授乳可能なスペース
- ・待ち合わせや、介助の助けとなる常設ベンチ
- ・焼杉木道(県産の木材を使用)による車いすや視覚しょうがいの方々への誘導
- ・暑さ対策となる焼杉木道サイドの野芝+ウッドチップ